すべてのこどもに適切な小児医療と快適な闘病生活を

特定非営利活動法人（NPO）こども医療ネットワーク

健康相談会 in 与論 報告書

平成21年1月31日（土）
14：00-17：00 保健センターで個別相談会 （24名）
18：00-20：30 こども健康講演会 （約40名）

参加者：
田原博幸、中村美保子、児玉祐一、
宮園明典、米衛ちひろ、
前田拓郎(学生)、力武隼平(学生)

現地サポート：
保健師 林 末美
町民福祉課長 沖野一雄

経済支援：
患者正会員 久 勝義 （5万円）

旅程：1月31日 JAC 11：35発 12：55着
2月 1日 JAC 13：30発 14：45着

総評：
1月31日与論町保健センターでこども健康相談会、講演会を開催しました。今回で与論での開催は4回目となりました。相談会は24人が来られ、発語が遅かったり、はっきりしていなかったり、へその肉芽がよくならない、身長が低いなどの小児科、小児外科ならではの相談がたくさんありました。また慢性疾患のお子さん、お母さんも例年通り来てくださいました。また講演会では上原クリニックの田原博幸医師、児童総合センターの中村美保子医師、鹿屋医療センターの宮園明典医師、済生会川内病院の米衛ちひろ医師にしていただきました。田原医師にはこどもの身近な外科疾患、中村医師には発達障害児への対応の仕方に加え、育児一般的に望まれる心得、宮園医師には心肺蘇生の実技、米衛医師には今回新たに始まったヒブワクチンを含めて予防接種について講演してもらいました。会場にはお父さん、お母さんだけでなく、保母さん方の参加もありました。それぞれに皆さんの反応がよく、予定時間を30分ほどオーバーしたにもかかわらず、あっという間に時間が過ぎ、ぜひまた開催してほしいとのご意見をいただきました。特に心肺蘇生は繰り返し実践することが必要なんですとのコメントを参加してくださった方々からたくさんいただきました。小児科の常勤医がいない与論でいろいろな専門の小児科医が訪れる機会は必要であることを感じました。今後とも地元の保健師さん達と協力しながら継続したいと考えております。 児玉 祐一）